

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった

学校教育目標		めざす生徒の姿（中期的目標）		総合評価					
『自己を見つめ、友と協力して 明るく逞しく生き抜く生徒』  四中プライド 「主人公として生きる」		主体性・自主性をもって創造・挑戦する生徒 ○主体的に学びに向かう生徒 ○自分の考えをもち、主体的に他と関わる生徒 ○地域に目を向け、主体的に地域と関わる生徒							
		今年度の重点目標		成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
		①学力向上（一人一台端末、単元テスト、四中アカデミー）							
		②不登校未然防止（学年担任制、人権教育）							
		③生徒が主体的に活動する場の設定（四中クリエイティブタイム等）							
④開かれた学校づくり（通信、HP、地域・保護者連携）									
領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
教育活動	① 学力向上	課題が明確で学びやすい授業	学習内容や課題がわかりやすい授業を展開している。						
		生徒が協働し、深く学ぶ授業	ICT 機器を活用しながら、他と関わって自分の考えをまとめたり、深めたり、表現したりする場面を位置づけている。						
		学びのデザインの支援	単元テストや四中アカデミーなど、生徒が自ら課題や目標をもって学びやすい環境を整えている。						
		家庭学習の充実	授業の内容と関連づけた家庭学習を勧めている。						
	② 不登校未然防止	一人ひとりに寄り添った支援	全ての生徒が安心して過ごせるよう、より多くの職員が生徒を見守り、声を聴き、その心に寄り添った支援を心掛けている。						
		不適応・不登校の早期発見	学年担任制を生かし、教師間で連携を密に取り合いながら、早期対応に努めている。						
		自己肯定感を持たせる支援	日頃から生徒の良さを認めたり、「わかった」「できた」という実感が得られ、「さらに学びたい」「もっとやってみたい」という意欲を生み出すための支援・評価をしている。						
	③ 生徒が主体的に活動する場の設定	生徒自らが考え創造する活動	四中クリエイティブタイムの活動の時間等で、生徒の主体的な学びの機会を保障・支援している。						
		「三本柱」の発展	「あいさつ」「清掃」「合唱」について、生徒自身がその目的やあるべき姿を考えたり、主体的に取り組もうとしたりすることができるよう、共に取り組みながら助言している。						
生徒会活動の充実		生徒が主体的に活動を企画・運営・実践できるような機会や場面を設定し、多くの生徒が「四中生で良かった」と感じられるような活動の支援をしている。							
学校運営	④ 開かれた学校づくり	情報発信の充実	学校だよりや学年・学級通信、学校ホームページで学校の情報を地域・保護者に発信している。						
		地域との連携の強化	四中アカデミーや学校運営協議会・PTA 活動などで、保護者・地域の方の支援や意見を学校運営に生かしている。						